



か え で ゆ う び ん 12月号



2024年12月1日
社会福祉法人 清松学園
幼保連携型認定こども園
か え で 保 育 園
園 長 引地 美津代

12月になっても暖かい日があると思えば木枯らしが吹いたり・・・と山の木々も寒暖の差が出てこそきれいに紅葉していきますが今年はきれいなまま落葉してしまい「秋」を感じるのが一瞬でした。そんな中ですが11月の終わりでだいち組で宝塚廃線跡に園外保育に出かけました。「だいち組全員で紅葉を見たい!」という声から11月の終わりに計画しました。



電車を降りて歩き始めたときの「キーン」と冷たい空気。影と日向の温度の差、ちょっと行く前の話し合いで知った「枕木」。など。知らなかったことや体験したことのない出来事などが生活の中にはあふれています。この初めてのこと、ちょっと知っていることなどが重なって友達同士が教えあったり、手伝ったりすることでクラスの意識が深まってきます。

だいちになると行きたい場所ややってみたいことを一つずつ叶えていけるよう計画していきます。今年の子どもたちは「だいち組みんなでしたい」という人のことも自分事のように思い行動する子どもたちが多いクラスです。「だいぼうけんの日」も皆で力を合わせて…と掛け声をしたり、一人のお子様のやる気が出るまで声を掛け合い心から応援したりしてくれています。この思いやる気持ちがこの先もずっと続いてもらいたいですね。この経験こそが人の心を育てたり、やってみたいにつながっていきます。これからが楽しみです。

もう一つ、「秋の芋ほり」では想像以上の収穫にびっくりしました。今日中に全部掘れるかな・・・と心配しましたが、少し周りの土をほぐすと皆で力いっぱい堀りきり、山になるほどの芋が収穫できました。芋だけでなくつるを使って様々な遊びに広がったり、お世話になった「おっこうやま保育園」の子どもたちにお手紙を書いたり、「芋ほり」から広がる様々な取り組みに楽しい秋を過ごすことができました。

12月も第2弾の焼き芋を園庭で行い、寒さを吹き飛ばしていきます。11月最終のイベントでは乳児クラスのヨガタイムで子どもも大人もほっこりできました。園庭の幼児クラスの椅子づくりは思った以上に苦戦・・・(今回はもう少しハードルを下げて作りやすく工夫します)出来上がった時には嬉しそうは大人の笑顔がありました。

たくさん遊んで特製の「ネギみそおにぎり」を頂いたり、皆さんで持ち寄ったバザーでみんなが笑顔になれた一日でした。これからも、保護者の方々と集い少しでも園の様子をお知らせする機会を持ちたいと考えています。

今年もあと1か月となりました。今年もお世話になりました。2025年も健康であり、皆が安心できるよい年明けになりますように・・・

おねがい

- ・12月29日から1月3日までは園が休園となります。緊急時は携帯にご連絡してください(園の開園時間のみ)
- ・**080-9500-1997(かえで保育園携帯)**
- ・冬期休暇のお手紙は後日配布します。
- ・紅白帽子・登園帽は週末には必ず洗濯してください。
- ・冬支度について～園で着用する上着はフードが付いていないものをご用意下さい。幼児クラスは置き場所がないため、登・降園と同じものにして下さい。(綿の半袖シャツ・トレーナー・上着で調節)
- ・下着は綿100%を着用してください。ヒートテックなど化繊のものは汗を吸わず、体を冷やしてしまいます。
- ・**登園前の予防接種、病気のための受診後の登園は控えてください。**
- ・**予防接種をした後は必ず健康観察のため園にお知らせください。**

おしらせ

- ・実習生
- 12月2日～12日 関西学院大学 2名
- ・体操：5日、12日、19日
- ・絵画：13日、23日
- 12月の予定
- 11日(水) 砂場の砂消毒
- 16日(月) 月例健診
- 18日(水) 誕生会
- 24日(火) お楽しみ会
- 28日(土) お弁当日

- 1月予定
- 4日(土) お弁当日
- 18日(土) 西宮市職員研修
- ＊家庭保育のご協力をお願いします。
- 24日(金) かえでフェスティバル
- ＊詳細は後日お知らせします。
- 28日(火) 4・5歳雪遊び
- 30日(木) 西宮市保育指導監査

園庭の木々も今年は秋の深まりが緩やかで、紅葉するのはいつ?と思いながらも、12月を迎えました。園の南側にあったスーパーの敷地内に植えられているケヤキの木も今年は紅葉していてもなかなか落葉していません。毎年かえで保育園の敷地に舞い込んでくる大量の落ち葉を子どもたちと集め、去年は焼き芋の火種にしました。

11月20日西区のおっこう山保育園までバスを貸切、ひかり・だいち組は芋掘り遠足に出かけました。5月おっこう山保育園の先生方とかえでの園長で芋の苗を100株も植えていただき、日々の手入れもして頂いたさつま芋が立派に育ったものを掘りに出かけました。芋のツルを切る作業や掘りやすいように事前に準備もしてくださいました。こうして自然豊かな中で芋掘りの体験ができたことに感謝したいと思います。さつま芋掘りの後には芋のツルもたくさん持ち帰り、リースにしたり、葉っぱや茎をままごとの材料にしたり、柔らかい茎の部分は少しスジを取り(フキのように)子どもたちの目の前できんぴら風にして、出来立てを美味しくいただきました。次の日も同じものを作ってみました。「お芋と違ってツルはコリコリするね」「こんなにおいしいのにお店では売ってないのかなー?」と言う子も。こわごわ食べていたいぶきぐみの子どもの中には「毎日作ってー」とリクエストまでしてくれたりもしました。園庭で焼き芋をしようとした日の朝、「待っていましたー」と言わんばかりの大量の落ち葉が舞い込んで、寒い中、火を囲みながら焼き芋大会を行うことができました。ほくほくしっとりとした焼き芋、「おいしかったーごちそうさまでした」

主幹保育教諭 F

11月は、幼児クラスの保護者の方に保育参加にお越しいただきました。普段口頭でお伝えしているお子さまの園での様子を実際にご覧いただき、子どもたちと一緒に保育園の生活を体験していただけたこと、嬉しく思います。お子さまの成長はもちろんのこと、共に大きくなってきた子どもたちの姿も喜んでくださったりと、かえで保育園の子どもたちは沢山の方々の温かい気持ちに包まれていることを改めて感じました。1月、2月に保育参加を予定されている保護者の方々もぜひ、子どもたちの世界だからこそ生まれる言葉のやりとりや、共に助け合いながら過ごしている子どもたちの姿を、楽しみにしててくださいね。先日、園庭あそびの際に足を擦りむいた幼児クラスのSくんが、事務所にやってきました。一緒に遊んでいたRくんも心配そうに事務所に入ると、救急箱を見つめながら『ばんそうこう、貼ってあげようか?』と一言。するとSくんも応えるように話し始めました。「ぼくと、Rくんと、OOくんはね、3人兄弟なんだよ」兄弟のように感じている友だちがそばにいてくれること、とても安心したことと思います。Rくんはというと、怪我の処置が終わりほっとして園庭に戻ろうとした時、足元を見て足の裏が泥んこだったことに気づくと少し照れくさそうに笑っていました。保育園の中でも助け合ったり時にはぶつかり合ったり…兄弟姉妹のように温かく育ててほしいと思います。

主幹保育教諭 K

先生からのメッセージ

みなさんは、幼い時の記憶の中で今でも心に残っていることはありますか？
最近、何か1人で楽しめる趣味はないかな～と探していると、実家に毛糸が沢山あるのを見つけました。早速実家から持ち帰り、簡単なセットを買ってかぎ編み針を始めてみました。最初は基本の編み方も難しくすぐに心が折れそうになり、母に「最近始めてみたけどなかなか難しくて」と相談すると、昔一緒に住んでいた祖母が編み物がとても上手だったこと、私が貰った毛糸は全て祖母のものであることを知りました。その話から昔、祖母と何度か一緒にミサガを作ったり、夏休みの製作で編み物をした思い出が蘇ってきました。「もっと一緒に色んなものを作ればよかったな」「もっと編み方教えてもらえばよかったな」と、今になって思うことが沢山あります。しかし、私の為に色々なものを手作りしてくれたことが、あたたかい思い出として残っています。今の私にできることは、沢山練習して祖母が残してくれた糸で色々なものを作ることだと思い、そこからひたすら練習しました。今はコースターや小さな巾着が作れる程度になりましたが、まだまだ作りたいものがあり毎日コツコツ編み進めています。私の目標は、いつか自分の子どもが産まれた時に祖母の糸で編んだ帽子とニットを着せてお出かけすることです。「ああすればよかったな」「もっとこうしておけばよかったな」と今でも祖母をしのび思い出すことがあります。そんな時はあたたかい思い出を胸に、過ごしていけたらと思います。

Ｙ先生



保護者からのエピソード

3歳になってからよく喋るようになりました。お友達のお名前を覚えてくれたり歌を歌ってくれたりします。なんでも自分ですと言うことも増え、一生懸命お着替えしたり靴を履いたりする姿を見てとても成長を感じます。今はトイレに挑戦中！自分のペースで頑張っていこうね。

つぼみ組 ももこさん

最近息子が「ママいちばん大好き！」「でも自分も1番に大好き！」とよく言います。ママはもちろん嬉しいですが、自分のことを好きでいられるのは素晴らしいことだなと思います。保育園という小さな社会で先生方や周りの友達との関わりの中で自己肯定感を育んでもらっているおかげですね。

ひかり組 ゆかさん

気に入るとルーティーン化したいタイプの息子は、朝階段から降りる時に「手つないで。パカラッパカラッしよ！」と階段をスキップ？みたいにしながら降りようとしてきます。朝から飛び跳ねるテンションになれず、お断りすることもよくあります。帰りはマンションの階段をジャンケンしてグリコで上がります。はじめの頃はわざと負けたりしていましたが、最近ジャンケンが強くなってきて、本気で負けてます。

ひかり組 まりこさん

兄は保育園でどんなもの作ったのかどこに力を入れてたのかなどお迎えの時に教えてくれるようになりました。弟はおしゃべりが上手になりました。送迎時にはお友達がいたら名前を叫んでいます。保育園でも兄弟で遊ぶ姿が見られるようになったので、これからも楽しく育てほしいものです。

ふたば・いぶき組 ともこさん

おえかきや塗り絵、字を書くことが大好きで、だいち組になってから更に集中するようになりました。その成果をかえてフェスティバルでも発揮してくれて嬉しいです。家では「ママちょっとこの格好してみて」と言われてスケッチしています。これからも残りの保育園生活で沢山の事を見たり、吸収して、表現してほしいと思います。

だいち組 あやかさん

入園当初は離れた途端大泣き…昼寝も抱っこでしかない子だったのですが、今は大好きなお友達や先生と楽しく過ごせる場所になったようです。「登園しておさかなに挨拶して、手を洗ってひやりんを飲んで、階段登って降りて、楽器を手にとって、それからお部屋に行く」というのが最近の朝のルーティーンです。

めばえ組 しょうとさん・ありささん

12月の子どもたちのようす



「友だち」と関われるようになってきましたので、部屋の模様替えを行い、ままごとコーナーをつくりました。保育者と一緒に遊ぶ中で、遊び方を知りながら楽しんでいます。食べる真似をしたり、保育者やお友だちに食べさせてあげる姿もあります。



バギーに乗って2人ずつ園の周りを散歩しました。金木犀の匂いを嗅いで秋を感じたり、車や植物などを指さしたりと、様々なものを発見しました。出会った方にも、笑顔で手を振っていました。12月も温かい日はお出かけしていきたいです。



寒天あそびをしました。ジュース屋さんごっこが盛り上がっていた為、触った寒天を1人ずつ容器に詰めて、世界に1つだけのジュースを作りました。プルプルとした感触や、黄色と青が混ざりあう様子を楽しみました。ジュースの量や色合いにも、それぞれの個性が出ていました。



人形を使ったお世話あそびが盛り上がっています。ままごとでは、新しくお鍋やチェーンリングをだし、色々な食べ物に見立てて遊ぶ姿が見られました。また人形のお風呂コーナーを設置しました。湯船にいれてあげたり、「あわあわ」「ゴシゴシ」と洗ってあげたりと、思い思いにお風呂あそびを楽しんでいます。



園庭では葉っぱを使った色水作りが好きで、自分で葉っぱの枚数を足しながら色の変化を楽しんでいます。完成したものは容器に移し替えてジュース屋さんも楽しんでいます。又、最近では子ども同士で会話をしながら遊ぶ姿がよく見られるようになり、テーブルや椅子で囲いを作ってごっこ遊びを楽しんでいます。家族ごっこでは「〇〇くんはあかちゃん」「〇〇ちゃんはまま」と役割を決めて遊んでいます。



11月のある日、おやつ時間にアゲハ蝶の幼虫が蛹から蝶になっているのを発見しました。子どもたちは虫カゴを順番に回して綺麗な羽を広げた蝶をじっと観察していました。2階のテラスに出てみんなでお別れ会をするときには「ばいば〜い」だけでなく、「またあおうね〜」「かえってきてね〜」と旅立つ蝶に声を掛ける子どもたちの優しい言葉と送り出す姿に感動しました。





～絵画遊び～

大きな模造紙に手や足を使って白いところなくなるまで塗りつくす絵具遊びをしました。子どもたちは「足もしていいの？」と目を輝かせて思い切り絵の具を使って表現することを楽しみました。原色だったのが塗っていくうちに黄緑やオレンジに彩られていくことに、嬉しそうな様子でした。次の絵画の時間では、この模造紙を使って遊びます。どのような作品ができるか楽しみにしてください。



～秋を見つけにいこう～

浜戎公園に秋を探しに散歩に出かけました。秋色に色づいた落ち葉やどんぐりを見つけ、子どもたちは嬉しそうな様子でした。集めた自然物を使って制作をしたり、様々な種類の自然物と出会う機会を設けていきたいと思います。



ホームセンターにブロッコリー、カリフラワーの苗を購入しに出かけた際に、みつけたヒヤシンス。早速クラス会議で、ヒヤシンスたちの名前を考えました。様々な名前候補が登場した中、白色のヒヤシンスには「ぱくちーくん」紫色のヒヤシンスは「すいかちゃん」に決定しました。

毎日保育園に来ると、ぱくちーくんとすいかちゃんの様子を気に掛けて、根っこが伸びる様子を観察したり、図鑑でヒヤシンスの絵がある箇所をみつけると、「ぱくちーくんとすいかちゃんといっしょ！」と大喜びです。これからのヒヤシンスたちの成長が楽しみです。



御前浜に出かけた帰り道に、マンホールを発見しました。「おすいだ」「しかくいマンホールもあるんだね」と道を歩き進める度に見つけるマンホールに大興奮の様子で帰りました。実際に子どもたちが見つけたマンホールたちの写真を印刷し、保育室の階段や靴箱などの地面に貼りました。翌朝、保育園に登園した子どもたちはびっくり！「マンホールができてる」「お・す・いってかえるのしたにかいてるよ」と目を輝かせながら伝えてくれました。園庭に出ると、穴を掘り続けている子どもたち。今は園庭の穴を掘り続け、下水道に入り、ねずみばあさんに会った後、保育室にあるマンホールから出られるような道を計画中です。



～久しぶりの松秀幼稚園～

松秀幼稚園に秋を感じに行きました。久しぶりに行ったので少し緊張している様子もありましたが、幼稚園の中に入ってから「かえでほいくえんからきたんだ」「どんぐりってどこにある？」と会話を楽しむ中で、園庭のことを教えてもらったり、一緒にリレーを楽しんだりしました。イチョウ、モミジバフウ、マテバシイ、クヌギなど沢山の自然に触れることができ、保育園にもバケツいっぱいお土産を持って帰りました。あまりの楽しさに、帰り道で「つぎはいついく？」とすでに次回のことを計画しようとしている子どもたちでした。





～1年生ってすごい！～

浜脇小学校に音楽会の練習の様子を見せてもらいに行きました。体育館に入るなり、ステージに並ぶグロッケンにマリンバ、オルガン、大太鼓、小太鼓など様々な楽器に大興奮。「あれはほいくえんにあるのといっしょかな？」「おっきいピアノはせんせいがひくのかな？」と楽器の種類や規模にも興味津々でした。暫くすると1年生がそろそろと入場して来て、自分たちで間隔を取りながら並んでいきます。そして合唱と合奏を披露してくれました。数か月前まで一緒に保育園で過ごしていた仲間が頑張っている様子を見て「かっこよかったね」「なんかきそうになっちゃった」と感動していました。みんなで音を合わせる楽しさや心地よさを感じられるよう、これから楽器遊びも楽しんでいきます。

カスタネットやタンバリン、鈴、マリンバ、ハモンド等、たくさんの楽器に触れる機会を設けました。リズムに合わせて音を鳴らす楽しさや音が揃った時の心地よさを感じながら、楽器あそびを楽しんでいます。音の音色を1つ1つ確かめる子や同じリズムでも楽器によって聞こえ方が違うことの気づきを楽しむ子と遊び方は様々です。楽器の持ち方や心地いい音の鳴らし方、優しく丁寧に使うことも再確認しながら、曲に合わせて、みんなで音楽を奏でることを楽しんでいます。



去年に引き続き、ひかり組だいち組で『おっこう山認定こども園』の畑で育ったお芋を掘りに行きました。バスの窓から見える自然豊かな景色や海を眺め、さつまいもクイズを楽しみながら向かいました。実際のさつまいも畑の大きさに驚きながらも「大きなお芋とるぞ～」と意気込んでいました。畑の土を手で掘り進め、さつまいもが見えると「まだ続いてるよ」「どこまで長いの！？」となかなか出てこないさつまいもに話しかけたり、どのように調理するか話し合いながら最後まで沢山いろんな形のさつまいもを掘っていました。だいち組は5歳児のお友だちと畑の散策をし、虫がいる場所、花が咲いている場所を教えてもらいながら交流を深めていました。おっこう山保育園のお友だちからどんぐりで作ったメダルのプレゼントを頂きました。さつまいも掘りをきっかけにこれからも継続して繋がりを育てよう計画していきたいです。

お台所から

だいち組のおともだちのおばあちゃんが庭で作られた柿をいただき、次の日のお昼ごはんのデザートで食べました。甘くて噛みごたえのある美味しい「柿」に子どもたちも嬉しそうに食べていました。また、安全面に気を付けて子どもたちの目の前で切る様子を見せてあげました。なにしているんだろうと不思議そうに近づいてきてじーっと見ている子や、「おうちでね！柿食べたことあるの！柿って甘くて美味しいよね」と教えてくれる子もいて、こども達が色々な果物や野菜に興味をもってくれることにとっても嬉しく思います。子どもたちが実際に切ることは難しいですが、目の前で切ったり炒めたり混ぜたりと、様々な様子を今後見せていってあげたいと思います。12月の手作りケーキにはいちごが登場します。甘酸っぱいいちごは毎年子どもたちに大人気です！



11月のお誕生日会は「わかめごはん、鶏肉のから揚げ、ポテトサラダ、コーンスープ」を作りました。毎月子どもたちから大好評のから揚げはおかわりをたくさんしてくれて、「美味しかったよ」と厨房まで伝えに来てくれる子もいます。そして寒い季節にぴったりのコーンスープが今年もやってきました。たまねぎをじっくり炒めたところに豆乳やクリームコーン缶を入れたら出来上がり。冷え切った体をほかほかに温めてくれます。粒々のコーンが良い食感になり、とっても美味しく出来上がりました。お誕生日ケーキは今が旬の蜜が入ったりんごとみかんを盛り付けて彩りの良いケーキになりました。



12月の献立・予定している食育活動

本格的な冬が近づき、12月は葉物野菜の多くが旬を迎え、美味しく食べられる季節です。ねぎとはくさいがたっぷり入ったあんかけうどんやかす汁（白鹿の酒粕使用）をたくさん食べて、寒さや風邪に負けない体と心が温まる食事を作っていきます。また冬至の日にはかぼちゃをお昼ごはん食べる予定にしています。実際に触ったり、種取りを子どもたちにしてもらいたいと考えています。子どもたちが毎日のごはんを楽しみにしてくれる献立や活動を今月も考えていきたいと思っています。

12月のあそびへの思い

めばえ

肌寒い日が増えてきましたが、帽子を見ると“外に行きたい”と帽子を被って準備を始めます。晴れている日には頭にじんわりと汗をかく程、身体を動かしています。友だちを少しずつ意識するようになり、友だちが持っている玩具に興味をもったり、同じあそびを楽しんだり、友だちとの距離が以前よりも近くなり、楽しく笑い合いながら「友だち」を意識して過ごせるようになってきました。

笑い合う姿以外にも、友だちが泣いているとそっと顔をのぞいていつもと違うことに気付き、頭をよしよしと撫でたり友だちを気づかえるようになってきました。保育者や保育園のお兄さん、お姉さんが“よしよし”と頭を優しく撫でてくれた事を覚えているからこそ出てくる行動なのではないかと感じます。笑う、泣く、怒る、友だちを想う気持ちなどたくさんの人と関わる中で様々な感情を抱き、優しい気持ちを大切に育ってほしいと思います。

ふたば

気がつけば2024年も残り1か月となりました。先日のかえでフェスティバルでは、「生活」「遊び」に分けて毎月掲示している写真を、4月から順に並べて掲示しました。日々一緒に過ごしていると中々気づきませんが、改めて写真を見ると、私たちはもちろん保護者の方々も子どもたちの成長に改めて驚かれたのではないのでしょうか。

最近のふたば組は一本下駄がお気に入りのようです。足の親指と人差し指の間に紐を入れてぐっと踏ん張り、歩こうと思うとなかなか難しくコツがいります。そんな中私たちが驚いたのは、つい昨日まで「てつだってー」と先生に手伝ってもらいながら一本下駄を履いていた子どもが、今日は自分で足を通し、バランスを崩しながらも、よいしょ！と1人で立ち上がって歩いていたのです。それを見て真似しながら、続々と自分で履いて歩き出す子どもたちの姿に、驚きつつも嬉しさと頼もしさを感じました。「自分でやりたいこと」と「手伝ってほしいこと」援助するその塩梅は難しいですが、「やってみたい」「挑戦したい！」気持ちをどんどん引き出してあげられるように、そっと後ろから温かく見守る存在でありたいと思います。

つぼみ

寒い季節になりました。園庭のどんぐりの木の下にはイルミネーションが飾られていて夕方になるとキラキラ輝いています。子ども達はクリスマスにちなんだ歌を歌うともうすぐサンタさんくるかな…と冬の訪れを感じている様子です。寒くなってきた為、子どもたちとは日々園庭でたくさん身体を動かして遊んでいます。子ども達が最近好んでいる遊びは野球で、幼児さんの手作りの新聞バットとボールを借りて打ち込みの練習を保育者と楽しんでいます。幼児さんのしている遊びに興味があり、大縄跳びをしている様子もじっと見えています。これからも異年齢での関わりを通し、遊びや生活の中でやってみたいことや自分自身が面白そう・楽しそうと感じれることに関心を持って取り組んでくれたらと思います。

いぶき

先日のアートフェスティバルでは、ご参加いただきありがとうございました。子どもたちは作品作りを通して、イメージしたものを形にして表現することや様々な素材の使い方を知る経験をしました。保育者が一緒に作ったり見守ったりしていると、「〇〇してみたいな」「〇〇することがたのしいな」としたいことや楽しいことを言葉にしていました。期待を膨らませながら作品作りをし、子どもたちの輝く目を見ていると、「やってみたい」「試してみたい」の気持ちが強くなる姿が見られ、こちらもワクワクし、嬉しい気持ちになりました。そんな気持ちと同時に、もっと色々な経験をして子どもたちの表現が広がって欲しいと感じました。今月は自然物を使った遊びや、楽器を通してリズム遊びをする表現遊びを楽しみたいと思います。

ひかり

あっという間に時は過ぎ、今年も残りひと月となりました。これまで「ドレミの歌」「世界中の子どもたちが」などワクワクする歌を、子どもたちと楽しみながら歌ってきました。先月「大きな古時計」を3番まで歌ってみることにしました。子どもたちと歌うときには、歌詞の中の物語について一緒に考えてみました。「どうしてとけいは、うごかなくなったの?」「あかちゃんのときから、みてくれてたんだよね」「ほいくえんのとけいも、ぼくたちのことをあかちゃんのときからみているよ」と歌詞の内容について、話し合いながら大切に歌ってみました。歌詞の中にある「今は、もう、うごかない」のフレーズでは子どもたちの表情もなんだか少し寂しさが伝わる様子で歌っています。歌詞の意味と一緒に考えながら歌ったことで、今までの歌の楽しみ方とは違う、歌の情景を考えながら歌うことができました。これからも子どもたちの素敵な歌声を聴きながら、楽しんでいきたいです。

だいち

11月のアートフェスティバルでは、だいち組になってからの1年をそれぞれ振り返り、どのような作品を作るかを一人ひとり相談しながら作り上げ、素敵な作品が沢山誕生しました。愛情込めて作った作品を、どのように風に飾りたいかも子ども自身で考え、飾る場所や布も選んで展示しました。自分の思い描くイメージを形にできたことで、達成感や自信に繋がっています。また友だちの作品にも目を向け、「〇〇ちゃんのすごくこまかいよね」「△△くんのさくひんすてき!」と声を掛け合う姿も見られ、互いを認め合える素敵な関係が築かれているなどあたたかい気持ちになりました。

はまかせ

朝のはまタイム、かぜタイムで歌っている『小さい秋』を口ずさみながら、どんぐりや色鮮やかな葉っぱを拾い「赤もオレンジも黄色もある」「こっちはつるつるだけどこっちはパリパリ」と観察しながら感じたことを呟く声がよく聞こえてきました。空の色がピンクや橙色と色合いが増えたように感じたり、お月様がより高く見えたり、夕方には「もう夜?ちょっとしか遊んでないよ」と日没の早さを感じたりとそれぞれの『小さい秋』を感じた11月となりました。

